



2016年3月期 決算説明会

シスメックス株式会社

代表取締役会長兼社長 家次 恒

2016年5月12日

本日の内容

Chapter 1 2016年3月期 決算総括

Chapter 2 2017年3月期 業績予想

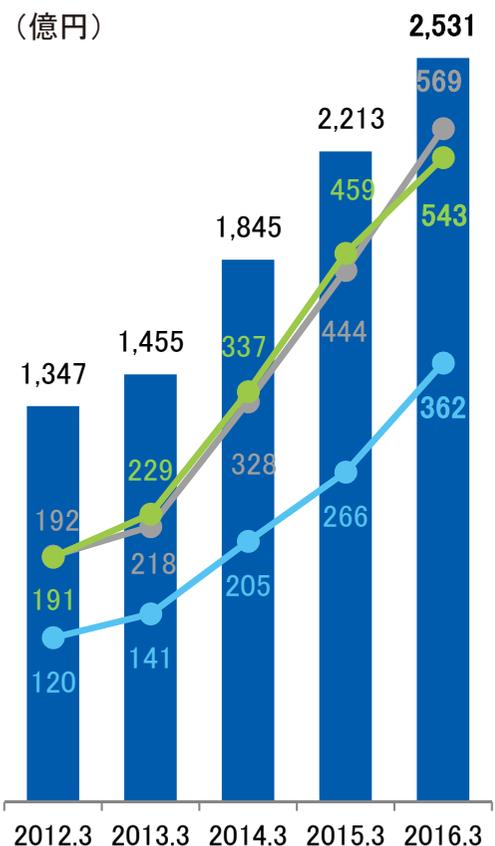
本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

Chapter 1

2016年3月期 決算総括

決算総括

売上高:16期連続増収、営業利益:15期連続増益
 - 売上高、全ての利益において過去最高を達成 -



	2016年3月期	前年同期
1USD	120.1円	109.9円
1EUR	132.6円	138.8円
1CNY	18.9円	17.8円

	2016年3月期		前年同期		前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	2,531.5	100%	2,213.7	100%	114.4%
売上原価	1,020.6	40.3%	953.5	43.1%	107.0%
販売費及び一般管理費	941.3	37.2%	816.0	36.9%	115.3%
営業利益	569.6	22.5%	444.1	20.1%	128.3%
経常利益	543.4	21.5%	459.5	20.8%	118.3%
当期純利益	362.3	14.3%	266.3	12.0%	136.0%

- **売上高** 中国を中心に海外全所在地で増収
- **営業利益** 増収効果および円安(ドル・元)の影響もあり大幅増益
- **営業外損益** 為替差損27.4億円(前年同期為替差益 9.3億円)
- **特別損益** 3.1億円(前年同期特別損益△2.2億円)

※ 為替の影響 売上高 +32.2億円 営業利益 +85.4億円
 ※ 前年同期為替レート適用の場合 売上高 112.9% 営業利益 109.0%

- **設備投資 (有形)** 130.9億円 **減価償却費** 122.5億円 **研究開発費** 177.7億円

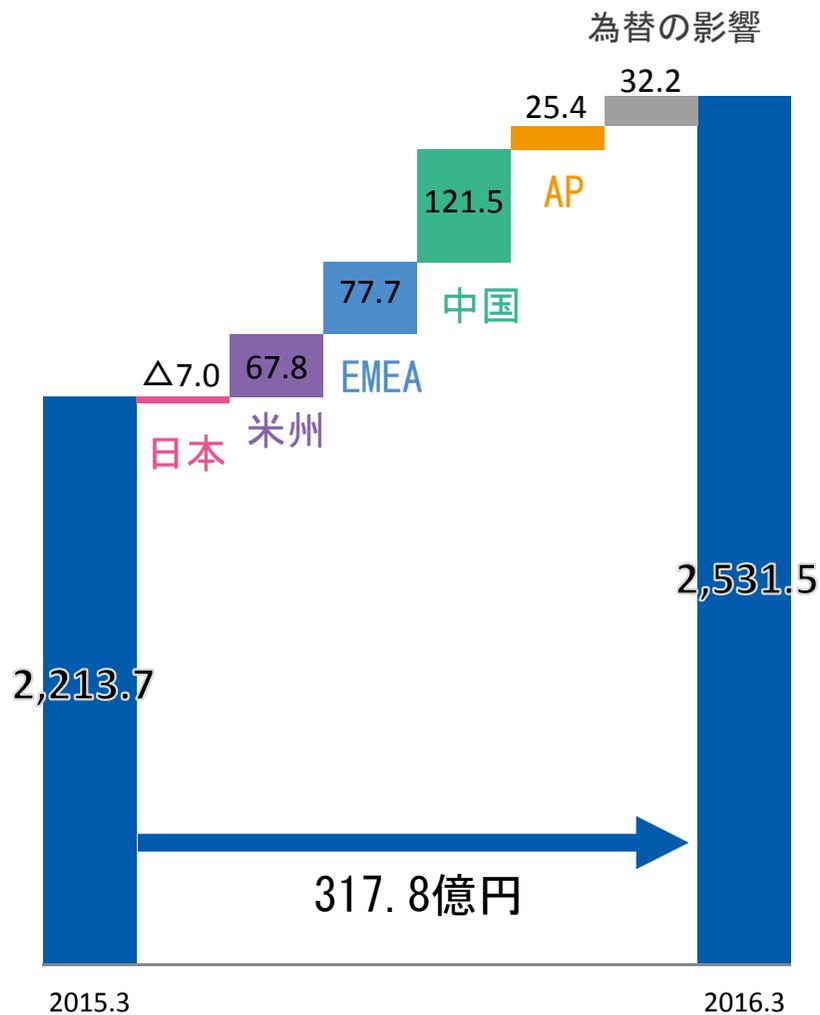
売上高・営業利益の増減要因



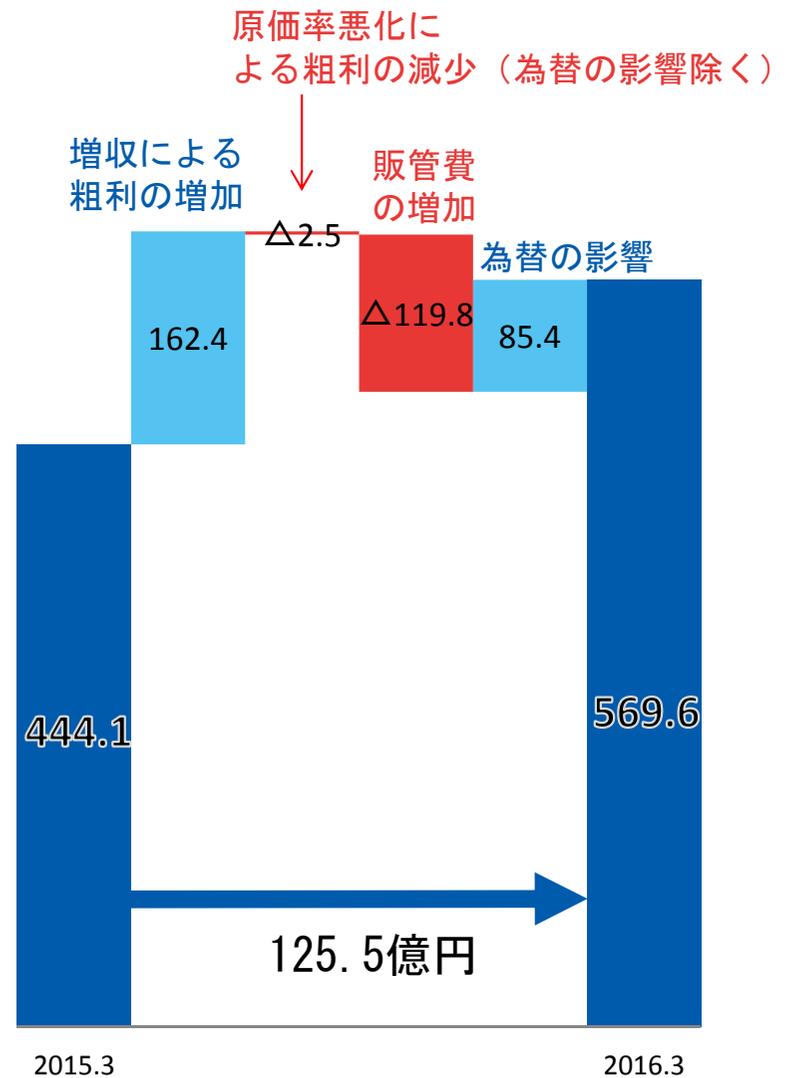
(億円)

売上高

※各地域の売上は為替の影響を除く



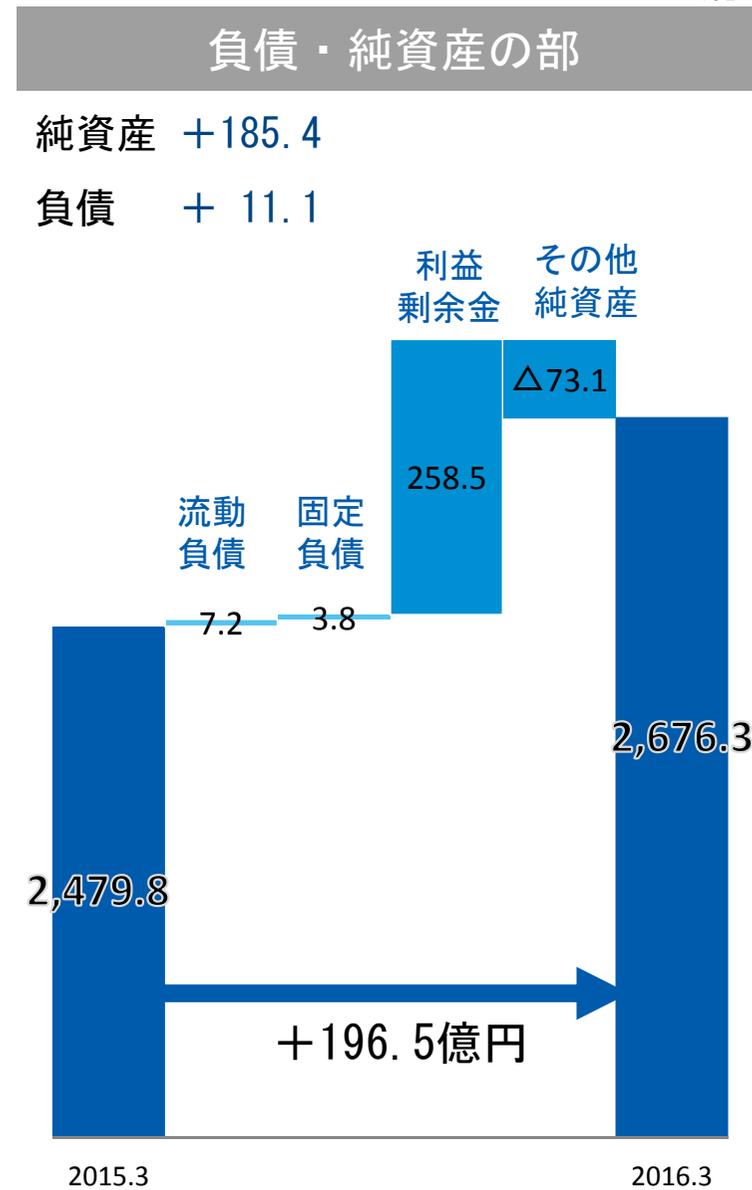
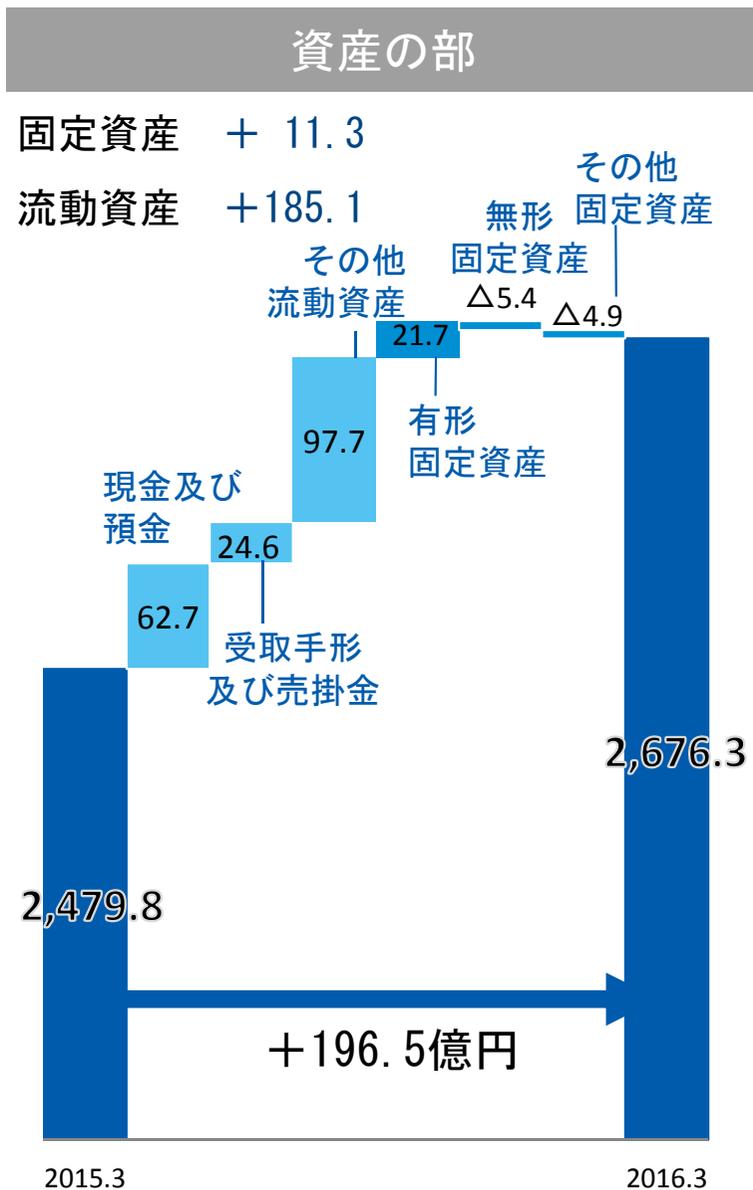
営業利益



貸借対照表の増減要因



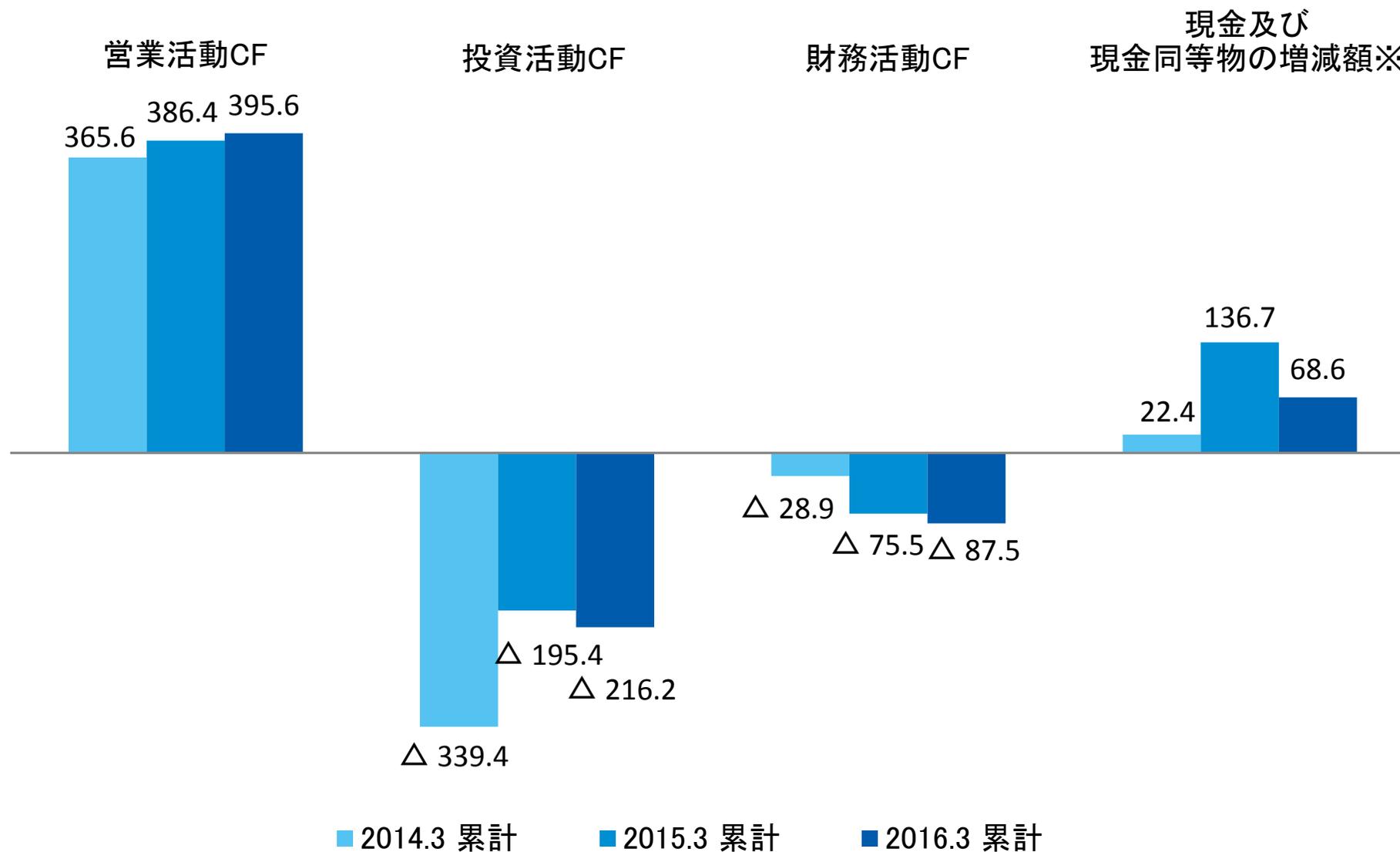
(億円)



キャッシュフローの推移



(億円)



※現金および現金同等物に係る換算差額も含まれております

M&A・アライアンス

- 海外市場における尿定性検査事業に関して、栄研化学株式会社と業務提携（2016年1月）
- シーメンスヘルスケア社との血液凝固関連製品に関するグローバルでの販売・サービス契約を更新（2016年4月）
- 米国の大手検査センター LabCorpと血液検体を用いたがん遺伝子検査分野で提携（2015年6月）

拠点整備

- ドイツの試薬生産工場の拡張を完了し、生産能力を従来の約1.5倍に増強（2015年7月）
- 米州における需要増加に対応するため、米国の試薬生産工場を拡張（2017年6月完了予定）
- 西・中央アフリカ市場の事業基盤強化に向けて、ガーナに現地法人を設立（2015年10月）
- テクノパーク内に新たにオープンイノベーションラボを開設（2015年10月）

ガーナ現地法人



製品・技術

- 尿沈渣検査分野の次世代モデル「全自動尿中有形成分分析装置UF-5000/4000/3000」を発売（2015年9月）
- 尿定性検査分野の新製品「全自動尿化学分析装置 UC-3500」を海外市場に発売（2016年1月）
- 尿沈渣検査分野の新製品「全自動尿中有形成分撮像ユニット UD-10」を発売（2016年1月）
- 転移性大腸がんの血中RAS遺伝子変異検査がCEマーク(欧州整合規格)を取得（2016年4月）

その他

尿搬送システム



- 2016年版「Global 100」(世界で最も持続可能な100社)に選出（2016年1月）
- 日本証券アナリスト協会「ディスクロージャー優良企業」、「個人投資家向け情報提供における優良企業」および日本IR協議会「IR優良企業大賞」受賞（2015年10月・11月）

所在地別売上高



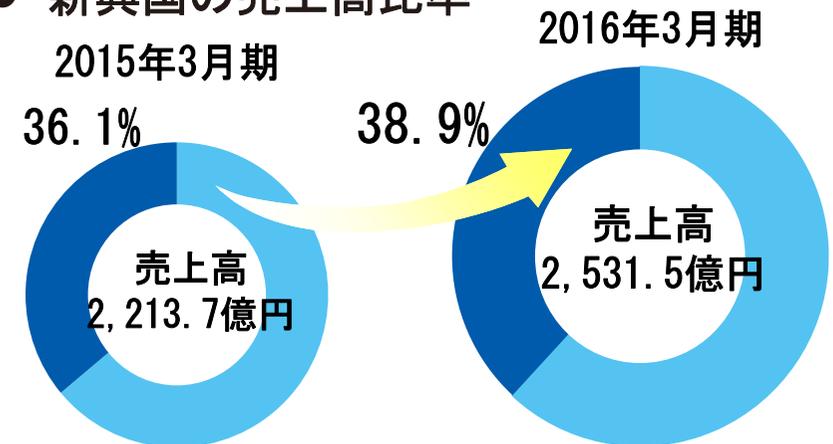
(億円)

所在地別売上高 (外部売上)							
	2016年3月期		前年同期		円	前年同期比	現地通貨
	実績	構成比	実績	構成比			
売上高	2,531.5	100%	2,213.7	100%	114.4%	-	-
所在地別							
米州	564.8	22.3%	470.1	21.2%	120.1%	109.9%	109.9%
EMEA	684.5	27.0%	632.5	28.6%	108.2%	113.3%	113.3%
中国	651.4	25.8%	498.3	22.5%	130.7%	123.3%	123.3%
AP	200.6	7.9%	178.6	8.1%	112.3%	-	-
日本※	430.0	17.0%	433.9	19.6%	99.1%	-	-

※IDEXX社等含む外部売上

為替レート		
	2016年3月期	前年同期
1USD	120.1円	109.9円
1EUR	132.6円	138.8円
1CNY	18.9円	17.8円

● 新興国の売上高比率



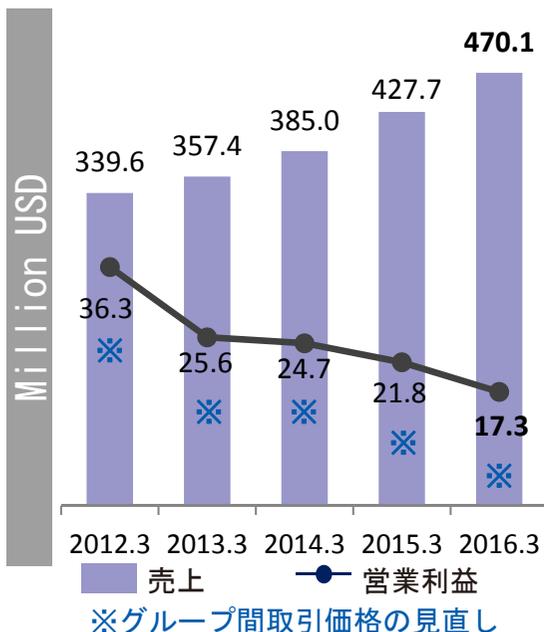
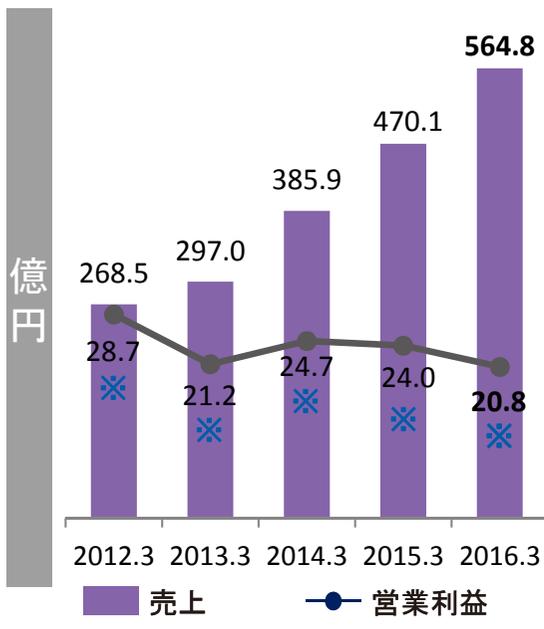
事業別売上高



	2016年3月期		前年同期		(億円)
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比
ヘマトロジー	1,597.2	63.1%	1,409.6	63.7%	113.3%
尿	175.2	6.9%	164.3	7.4%	106.7%
HU-BU	1,772.4	70.0%	1,573.9	71.1%	112.6%
免疫	77.5	3.1%	47.2	2.1%	164.1%
生化学	35.9	1.4%	37.2	1.7%	96.6%
凝固	441.6	17.4%	336.5	15.2%	131.2%
ICH-BU	555.1	21.9%	421.0	19.0%	131.9%
LS-BU	33.8	1.3%	31.4	1.4%	107.8%
その他※	170.1	6.7%	187.3	8.5%	90.8%
売上高計	2,531.5	100.0%	2,213.7	100.0%	114.4%

※ 臨床検査システム、仕入商品、研究用・産業用FCM製品、新興国向け簡易FCM製品 等
従来は「HU-BU その他」に新興国向け簡易FCM製品を含めていたが、「その他」に組替

米州における取り組み（所在地別）



Copyright by Sysmex Corporation

(億円)	2016年3月期	前年同期	前年同期比	
			(円ベース)	(現地通貨ベース)
売上高	564.8	470.1	120.1%	109.9%
営業利益※	20.8	24.0	86.7%	79.4%

※ 2015年3月期1Qに発生したサービス繰延収益の取崩の影響を除いた場合
 売上高：121.2% 営業利益：102.0%
 (2015年3月期1Qに発生したサービス繰延収益の取崩：売上高+4.2億円、営業利益+3.6億円)
 ※ 2016年3月期4Qより物品税一時停止の影響（営業利益+1.4億円）

- 顧客満足度の高いサービス活動やXNシリーズの競争力により機器に加え試薬およびサービスが伸長し大幅増収
- 前年同期のサービス繰延収益の取崩および米国における販売・サービス活動強化による費用増等が影響し減益

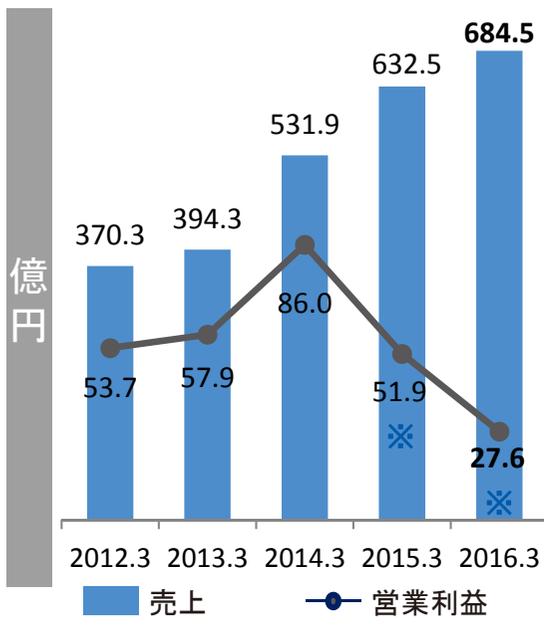
現地通貨ベース

- 米国 大型案件獲得によるヘマトロジー分野のシステム製品売上増加等により増収
- 中南米 メキシコの政府大型案件獲得等がレアル安の影響を補い微増

EMEA※における取り組み（所在地別）



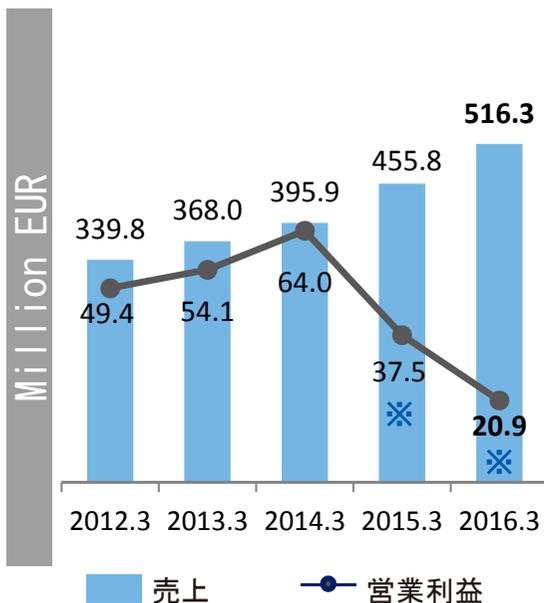
※欧州、中東、アフリカ地域



(億円)	2016年3月期	前年同期	前年同期比	
			(円ベース)	(現地通貨ベース)
売上高	684.5	632.5	108.2%	113.3%
営業利益※	27.6	51.9	53.2%	55.7%

- 主要5カ国に加え、中東、ロシアなど新興国を含む全地域で増収
- 増収となるも、グループ間取引価格の見直しおよびPartec、Inosticsの営業費用増加により減益

※ Partec、Inosticsを除外した前年同期比：売上110.5%、営業利益86.3%

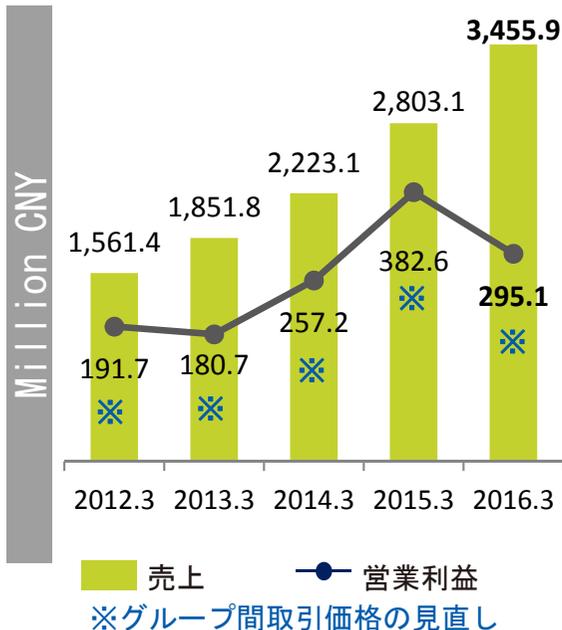


現地通貨ベース

- 主要5カ国 イタリア、スペインなどで大型案件獲得
- その他欧州 大型案件を獲得したデンマーク等で増収
- 東欧・ロシア ポーランドおよび大手検査センター案件を獲得したロシアにおいてヘマトロジー分野が伸長し増収
- 中東・アフリカ サウジアラビアにおける保健省管轄施設向け入札獲得等により増収

※グループ間取引価格の見直し
Copyright by Sysmex Corporation

中国における取り組み（所在地別）



(億円)	2016年3月期	前年同期	前年同期比	
			(円ベース)	(現地通貨ベース)
売上高	651.4	498.3	130.7%	123.3%
営業利益※	55.6	68.0	81.8%	77.1%

- ヘマトロジー・凝固・免疫分野の売上が伸長し大幅増収
- グループ間取引価格の影響および免疫分野の活動強化による販管費の増加もあり減益

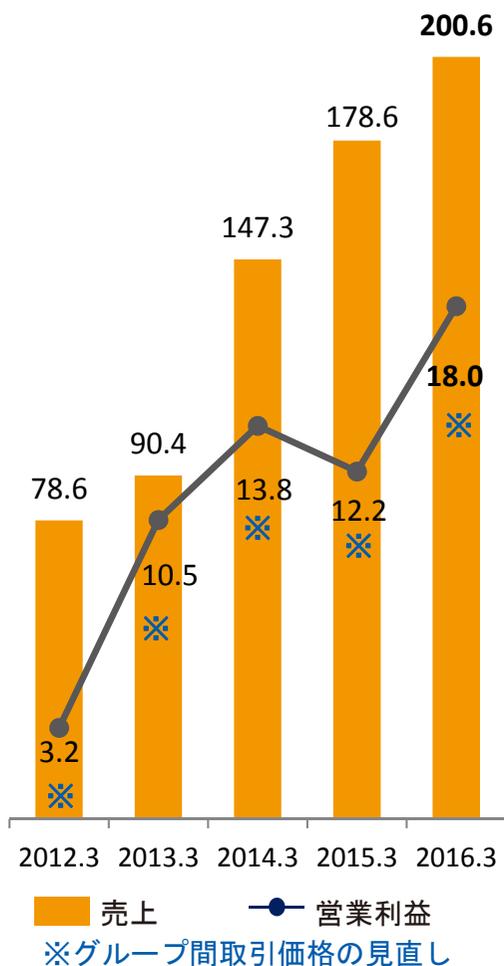
現地通貨ベース

- ヘマトロジー分野 システム提案によるXNシリーズの好調により増収
- 凝固分野 ハイエンド製品のCSシリーズの販売好調および線溶系項目試薬の需要拡大により、機器・試薬ともに大幅増収
- 尿分野 新製品への移行期の影響もあり横ばい
- 免疫分野 HISCLシリーズの販売拡大により増収 (2015年3月期3Qより販売開始)

APにおける取り組み（所在地別）



億円

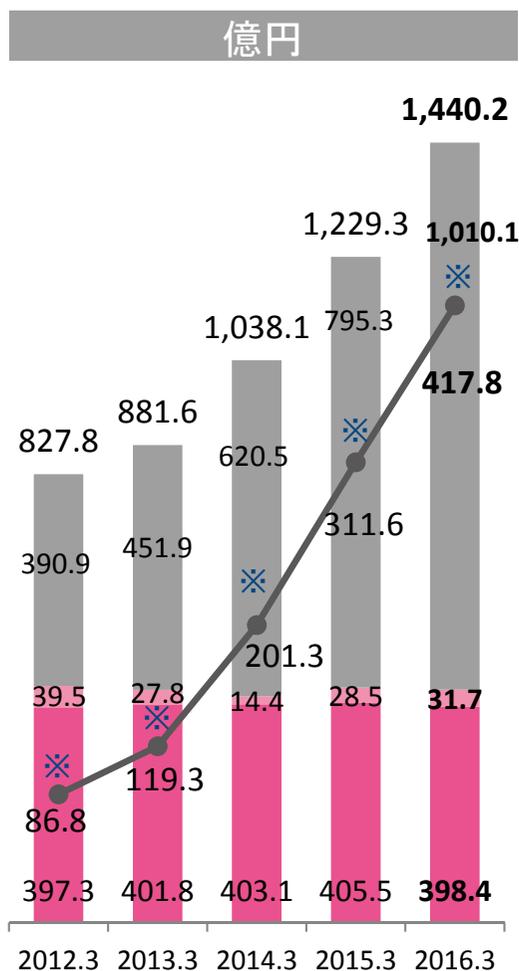


(億円)	2016年3月期	前年同期	前年同期比 (円ベース)
売上高	200.6	178.6	112.3%
営業利益※	18.0	12.2	147.3%

- インド・インドネシア・韓国等においてヘマトロジー分野を中心に伸長し増収
- 増収効果により増益

- 東南アジア インドネシア・ベトナム・フィリピンにおいて、ヘマトロジー分野を中心に伸長し増収
- 南アジア インドにおけるヘマトロジー・生化学分野の伸長に加え、バングラデシュでの他社攻略によるヘマトロジー分野の大幅伸長により増収
- オセアニア オーストラリアにおいて、前年に引き続き今期もヘマトロジー大型案件を獲得し微増
- 韓国・台湾 韓国において、ヘマトロジー分野の機器・試薬の売上が伸長し増収

日本における取り組み（所在地別）



- 内部売上高：関係会社への輸出等
- 外部売上高：IDEXX社等
- 外部売上高：日本
- 営業利益

※グループ間取引価格の見直し

(億円)	2016年3月期	前年同期	前年同期比
売上高	1,440.2	1,229.3	117.2%
外部	430.0	433.9	99.1%
日本	398.4	405.5	98.2%
IDEXX社等	31.7	28.5	111.3%
内部	1,010.1	795.3	127.0%
営業利益※	417.8	311.6	134.1%

- 日本は微減も、グループ関係会社（海外）向けの内部売上の増加およびグループ間取引価格の見直しにより増収増益

- 日本 免疫分野を中心に試薬売上が伸長するも、機器売上が減少し微減
- IDEXX社等 IDEXX社向け機器売上が好調に推移し増収

予想配当額 増配率36.8%・14期連続の増配（案）



- 年初予想（年間 40円）に対し中間4円、期末8円の計12円の増配

	中間	期末	年間	配当性向
2015年3月期	16 円	22円	38円	29.6 %
2016年3月期 (案)	24 円 <small>※上場20周年記念 配当金（4円）含む</small>	28円 <small>※第49回定時株主総 会に付議する予定</small>	52円	29.8 %

Chapter 2

2017年3月期 業績予想

連結 通期業績予想



2017年3月期 連結業績予想 IFRS () 内は日本基準

売上高 2,750億円 営業利益 620億円 (610億円) 営業利益率 22.5% (22.2%)

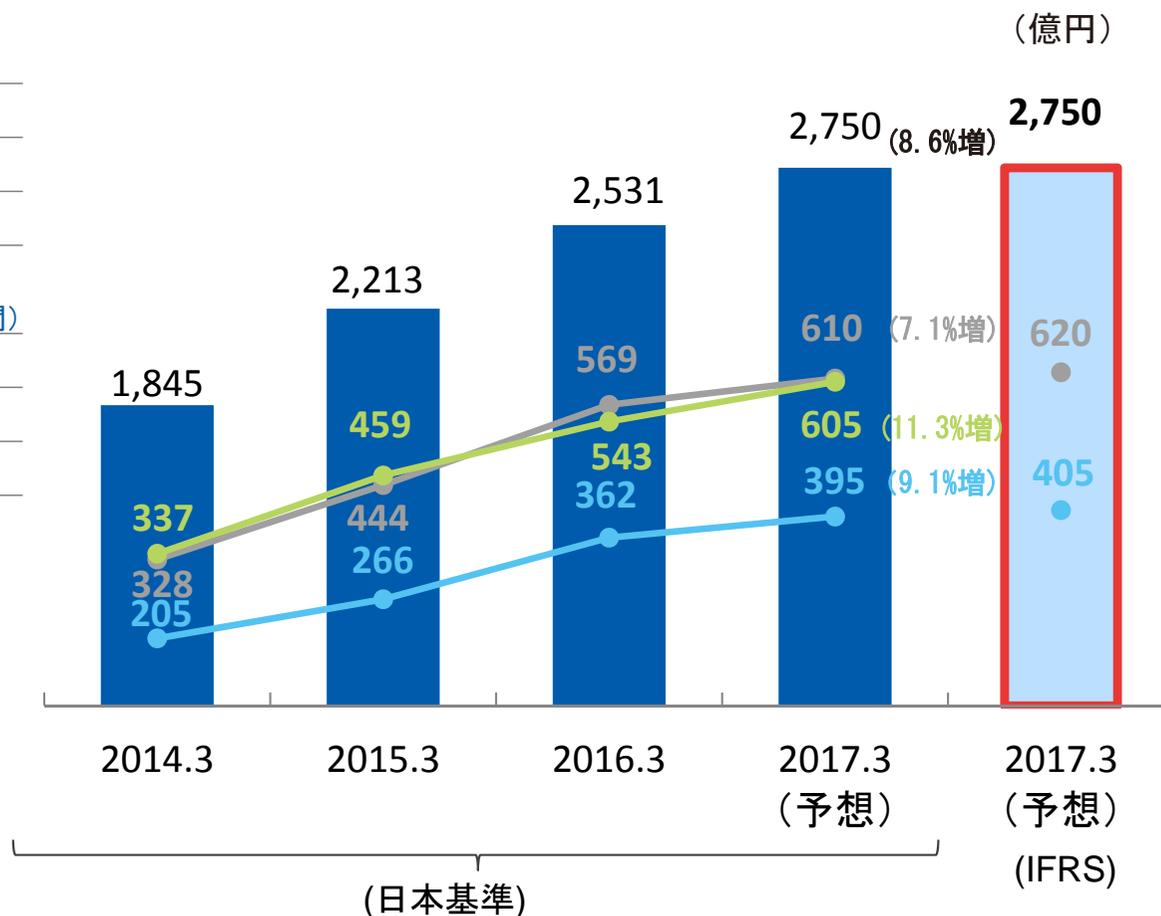
親会社の所有者に帰属する当期利益 405億円 (395億円) 当期利益率 14.7% (14.4%)

投資計画 (IFRS) 設備投資 100億円 減価償却費 142億円 研究開発費 162億円

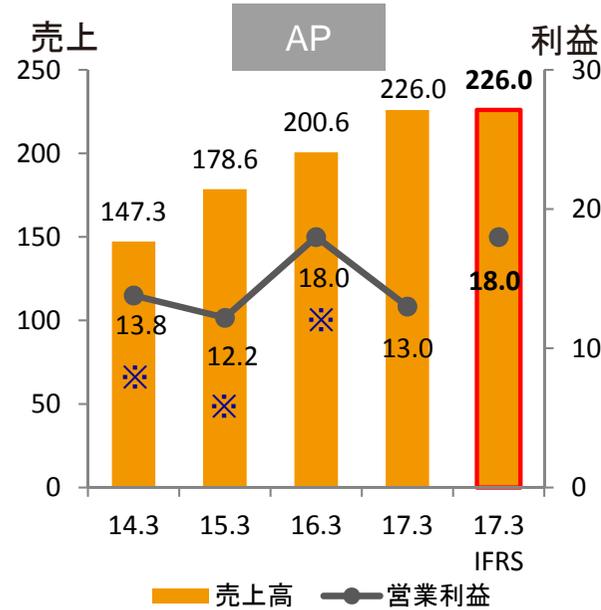
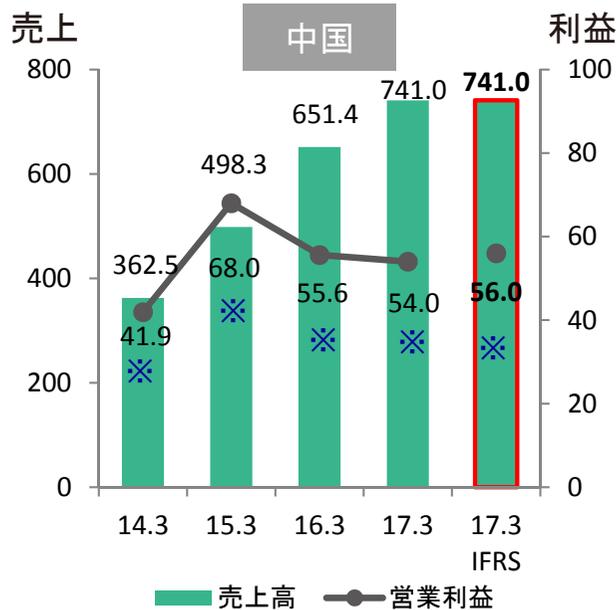
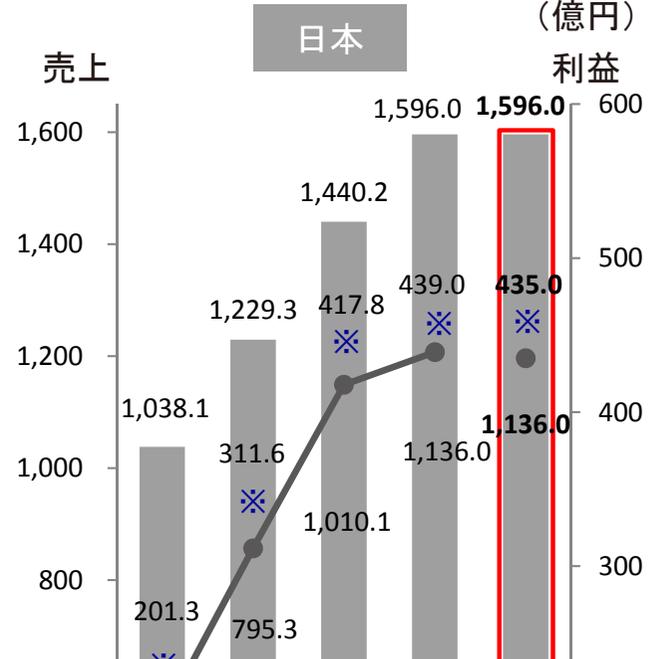
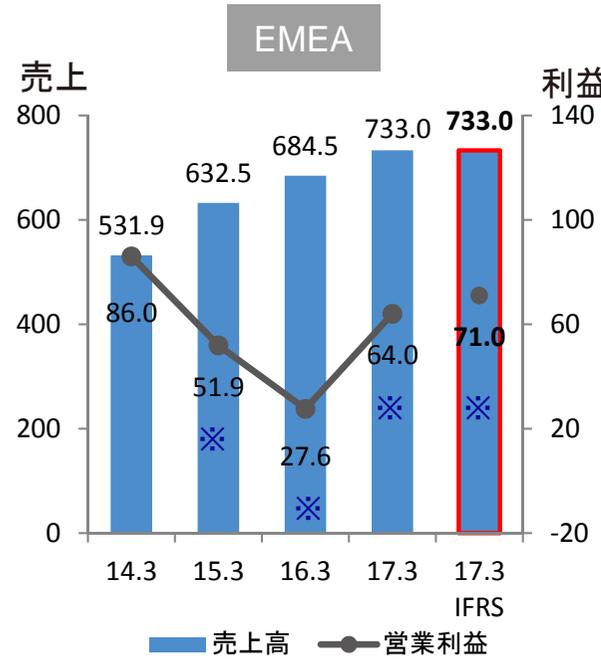
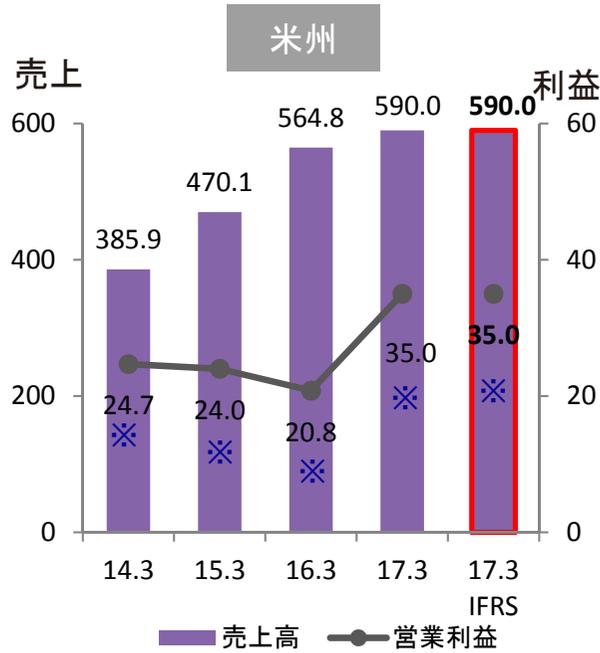
	通期想定 為替レート	2016年3月期 実績レート
1USD	110.0円	120.1円
1EUR	125.0円	132.6円
1CNY	17.0円	18.9円

	為替感応度 売上(年間)	為替感応度 営業利益(年間)
USD	5.3億円	5.8億円
EUR	4.2億円	2.1億円
CNY	43.6億円	3.2億円

- 売上高
- 営業利益
- 経常利益
- 当期純利益



所在地別 通期業績予想



2017年3月期通期予想



(億円)

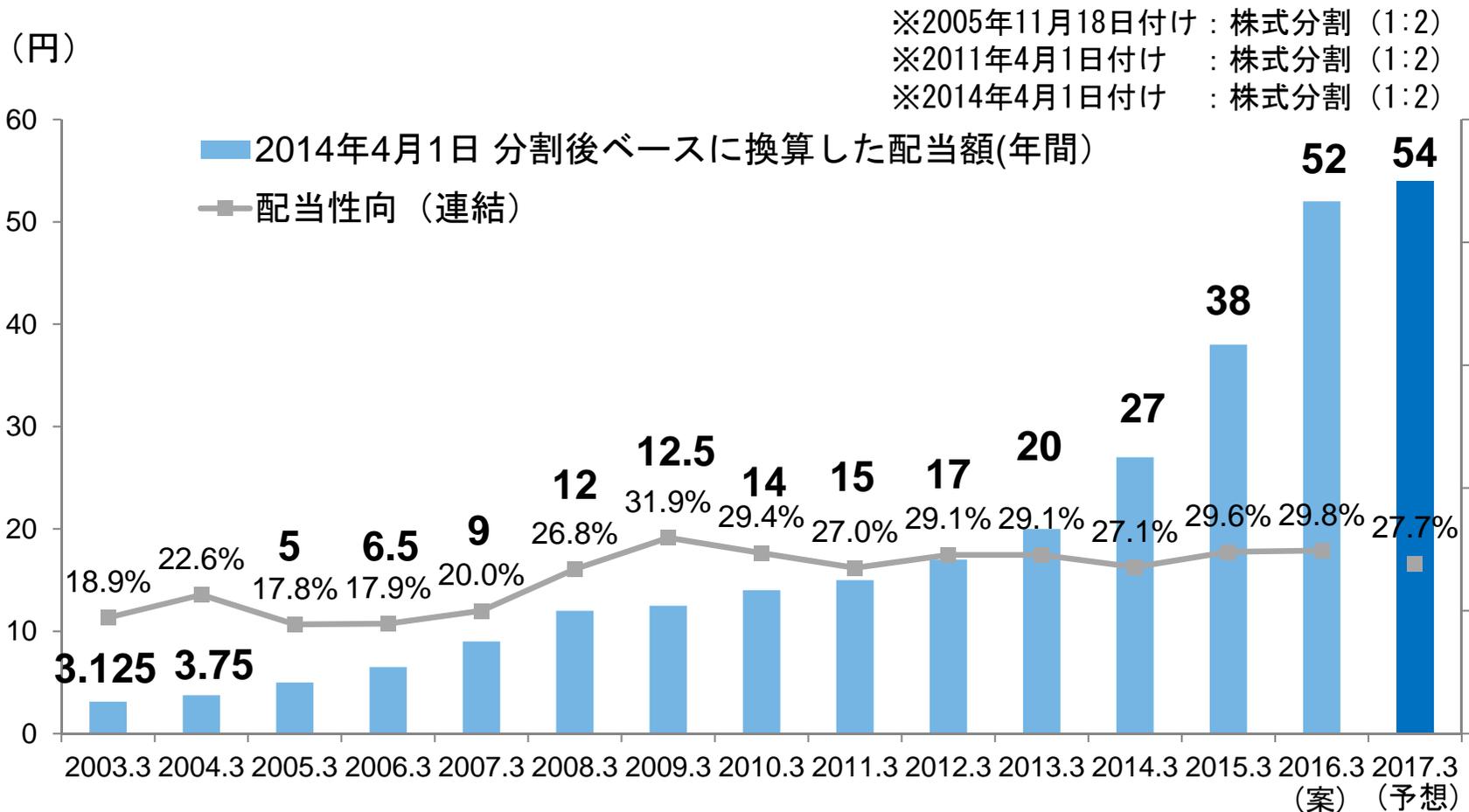
	日本基準	IFRS	差異	主な差異理由
売上高	2,750	2,750	±0	
売上原価	1,125	1,140	+15	開発費の資産化に伴う償却費の増加： +17.0億円
売上総利益	1,625	1,610	△15	
販管費	1,015	990	△25	開発費の資産化：△23.0億円 のれん非償却：△10.0億円 退職給付の数理計算差異：+5.0億円 その他営業外損益等：+3.0億円
営業利益	610	620	+10	
税引前利益	602	615	+13	
親会社の所有者に 帰属する当期利益	395 [※]	405	+10	

※日本基準における親会社株主に帰属する当期純利益を記載

15期連続の増配(2017.3期予想)



シスメックスは、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向30%を目処に配当を行ってまいります。





参考情報

(参考) 2016年3月期通期実績



(億円)

	日本基準	IFRS ※1 (参考値)	差異	主な差異理由
売上高	2,531.5	2,531	±0	
売上原価	1,020.6	1,023	+3	開発費の資産化に伴う償却費の増加： +4.4億円
売上総利益	1,510.9	1,508	△3	
販管費	941.3	900	△41	開発費の資産化：△23.5億円 のれん非償却：△19.3億円
営業利益	569.6	608	+38	その他営業外損益等（+0.1億円）含む
税引前利益	546.6	579	+32	退職給付制度改定差益の処理：△5.5億円
当期利益※2	362.3	388	+25	

※1 2016年3月期実績（IFRS）は、主な影響のみを考慮した参考値として記載

※2 日本基準では親会社株主に帰属する当期純利益、IFRSでは親会社の所有者に帰属する当期利益を記載

(参考) IFRS比較



	2016年3月期 ※ (参考値)	2017年3月期	差異 (億円)
売上高	2,531	2,750	+219
売上原価	1,023	1,140	+117
売上総利益	1,508	1,610	+102
販管費	900	990	+90
営業利益	608	620	+12
税引前利益	579	615	+36
親会社の所有者に 帰属する当期利益	388	405	+17

※2016年3月期実績 (IFRS) は、主な影響のみを考慮した参考値として記載

	2016年3月期 実績レート	2017年3月期 通期想定為替レート
1USD	120.1円	110.0円
1EUR	132.6円	125.0円
1CNY	18.9円	17.0円

(参考) IFRSと日本基準との差異



(億円)

	2016年3月期 (参考値)	2017年3月期	主な差異理由
売上高	0	0	
売上原価	+3	+15	開発費の資産化に伴う償却費の差異の増加：13.0億円
売上総利益	△3	△15	
販管費	△41	△25	のれん非償却の差異の減少：8.0億円 年金制度改定差益：4.7億円(2016年3月期)
営業利益	+38	+10	

We Believe the Possibilities.

シスメックス株式会社

<お問合せ先>

シスメックス株式会社

コーポレートコミュニケーション本部

IR・広報部

電話: 078-265-0500

メールアドレス: info@sysmex.co.jp

www.sysmex.co.jp